

ビブリア

発行 いわき市平上荒川字長尾30
福島工業高等専門学校
編集 図書委員会 ビブリア編集部
平成4年3月11日

福島高専図書館報第72号

巻頭言



小林伸吉

読書には、情報獲得型と趣味型の2種類があり、後者のためには本は本の形を取る必然性はなく、むしろCDやLDの方が優れていると、私は本誌66号に書いた。今、電子ブックなるものを前にして、そのことを改めて確信すると同時に、これは、趣味的読書にはまったく向いていないとつくづく思う。論文を書くためには1枚のCDに収まったシェイクスピア全集は確かに便利であるが、ワイングラスを片手に作品を読むにはやはり皮表紙の本がよいし、寝ころんで読むには文庫本が適している。それにしても、全26巻の百科辞典が8センチのCDに収まってしまうというのは感動的である。しかも、使い勝手は紙に印刷されたものよりもはるかによい。見出し語だけではなく、キーワードでも検索できるし、必要に応じてフロッピーに落とし、後からワープロで編集することもできる。そして、何よりも助かるのは、何冊ものお厚い本に机が占領されないことである。

情報獲得のためのメディアは急速に電子化するであろうから、学校や図書館のあり方もこれから10年くらいのうちに大きく変化するものと予想される。何でもコンピューターがやるようになると、学生はますます頭を使わなくなると言われているが、私は賛成しない。百科辞典持ち込み可という試験を想像してみよう。何の準備もなし

に模範解答が書けるとするのは、試験＝丸暗記という伝統の中で育った学生の悲しさである。必要な項目を検索し、それを読み、理解し、さらに何がしかのことについて自分の言葉で文章を書くのはたいへんな知的作業である。このような試験では、記憶力の試験の場合よりも、さらにはっきりと能力差が出る。しかも、その差は、多分、少しばかり勉強したくらいでは縮まらない性質のものと思われる。暗記力の試験はその量を測るものだが、あらゆる情報を公開した上での試験は、学生の知的資質を問うことになるからである。

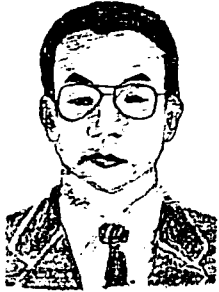
では、この種の試験でよい評価を得るにはどうしたらよいのだろうか。趣味型の読書に多くの時間を割くことを勧める。知的資質とは、一言で言うと、頭の柔軟性であるが、それは各人の個性＝趣味＝価値観に根ざしているような気が私にはする。コンピューター相手の勉強は確かに合理的であり、いずれ本校図書館にも電子辞書やパソコン通信利用のためのコンピューターが閲覧室に並ぶであろう。しかし、近い将来、図書館から本が消えるとは想像できない。人間の感性には、コンピューターと相性の悪いものが少なからずあり、それらは、ここしばらくの間、本という形を取らざるを得ないからである。

4月から、図書貸出業務の一部がコンピューター化される。また、約5万冊の図書館蔵書をコンピューターで検索し、もし希望の本が帯出中なら、それを予約することもできるようになる。1年間は試行期間なので、いろいろ意見を聞かせて欲しい。

目次

巻頭言	小林伸吉	・・・1	随想	渡辺敏夫	・・・5
英語学習法異聞	宮澤泰彦	・・・2	卒業生が推す一冊		・・・6

英語学習法異聞



宮澤 泰彦

「使える英語を教えてくれだって？ いつも教えてるじゃないか。」「ちっとも使えるようにならないって？ 自分で使う練習してんの？」「やってない？ じゃあ、当然だよ。俺様だって一所懸命やってこの程度だもの。」「凡人が苦勞なく外国語を操れるようになるなら俺達みんなおまんまの食いあげだよ。難しいことだと思ってるんじゃないか。」「先生は英語しゃべれんのかって？ ばかやろう。英語の先生だぞ。それなりにな。ただし、どちらかという読む方が得意だ。」「うーん。でもこれは俺の専門分野じゃないからだめだ。英語で書いてあるものが何でもわかると思われちゃ困る。それで行ったら国語の先生にわからぬものはないことになる。」「逃げるわけじゃないぞ。フェアに考えてみてくれと言ってるだけだよ。」「じゃあ何が専門かって？ こうしてお前達の相手をするのが俺の専門だ。」「それなら納得が行くよう教えてくれって？ いよいよ苦しくなってきたな。それじゃあ少しだけ教えてやることにするか。まずは・・・」

KNOW WHY

やるからにはものにしてやるという意欲と情熱を持つ。企業に入れば新人研修で英語漬けにされるだろうし、大学に編入すれば教養の語学の単位ばかり取らねばならない。これからのエンジニアが英語の基礎抜きで務まらないことは明白だ。企業での昇任の条件でさえあるという。

とにかく英語ができると得なのだ。

今からやっておかぬ手はない。

KNOW WHAT

欲張らず目標を絞り込もう。まずは中学英語を完ぺきに使いこなすこと。基礎となる一千語位は無条件で頭にたたき込もう。これを抜きに話は始まらない。

次に、読み、書き、聞き、話す、の4つの中で、自分はどこが特に弱いのか把握し、対策を立てよう。

最後に、自分の専門分野、映画、歌、小説、スポーツ、観光、趣味、特技・・・興味の持てる対象に手を伸ばそう。巷には教材があふれている。

THEN KNOW HOW

出費を惜しまず時間を惜しもう。価値あるものを手にするのに、金と時間がかからぬものはない。短時間ずつでも毎日繰り返し継続しよう。

五感を総動員しよう。洋画ビデオ、英会話テープ、二か国語放送、あらゆるメディアにチャレンジしよう。英語の小空間を創り出し、集中して浸り込むつもりで腰を据えてかろう。

VOCABUIL

何より大事な中学英語。もし君が完全な英語オンチなら、文型・文法を頭で理解しようと苦しむ前に、中学校の教科書で基礎語を縫ざらいしよう。決意が固まったら連休などを利用して集中的にやるのがミソ。急に視界が開けて来ること請け合い。

中学校を思い出そう。フラッシュカードやOHPで新出語の記憶訓練を授業中にやってくれていたはず。語学に暗記はつきもの。なのにいつの間にか英語は「覚える」より「理解する」ものと決めていなかったかな？ 全てに先立つのは単語の力。茶の間で寝ころびながらも、起床、就寝時でも、はたまた授業のあいまの休み時間でも、わずかな時間があれば単語集を取り出す習慣が身についたらしめたもの。

マメタン、シケタン悪くない。特に初心者のうちは、頻度順に整理された単語集を暇さえあれば目を通し、基礎語彙は徹底的に我がものにしてしまうことが肝要。

GRAMMAR

文法をおろそかにするな。「会話」「会話と世の中はうるさいが、我々を取り巻く現状からすると、文法こそ英語習得への一番の近道だ。

文型は動詞で決まる。基本動詞を中心に、典型的な文型を整理しよう。

前置詞・副詞の根源的な意味に注目しよう。それが熟語のセンスを生む。品詞は文中で働きで決まる流動的なもの。「この語は何詞」と分類して固定化しないこと。各品詞の名称の由来を思いだそう。品詞とは語の果たす役割の名前なのだ。ただし、文の主要素名（主語、動詞、目的語、補語）と品詞名とは異なるレベルでの名称。いつも区別して考え、区別しないこと。

文法もまた「理解する」より「覚える」方が先。基本例文を覚え、何度か類例に出会ううちに徐々に慣れてきて、後から理解がついて来るものが多い。発想が日本語と違うのだ。最初は「わかったような気がしない」のが当り前。

READING

ハンデは当然。どうせ外国語：とりあえず読解は「半可通」で良しとしよう。完べき主義を捨て、多少間違おうのが当り前と開き直ろう。日本語の文章だって必ず未知の語には出会うもの。大勢に影響なしとみたら適当に類推して先へ進んでしまおう。どうにも論旨がつかなくなってきた所で調べ直そう。

テーマと書き出しのパラグラフから論の展開を推測しつつ読み進む。そして、そのテーマについて持てる一般常識を総動員して全体のイメージを描こう。これだけで単語や構文のとんでもない取り違えがある程度避けられる。

英語特有の「論理展開の型」が存在する。パラグラフどうしの関係を見抜き、全体の構成をいつも意識の片隅に置こう。

キーワードと見れば印をつけながら意味のまとまりに区切りを入れて、前から順に理解して行こう。

知ってる熟語や相関語句にはすぐにアンダーラインを引いてしまう。

接続詞・関係詞には必ずマークし、節をかくことでくくってしまう。

不明な単語は前後関係からおおよその推測をつける。こだわらずに先へ進んでみると手がかりが見つかるもの。

文型が判らなくなったらまず主動詞を押さえる。次にその動詞の主語だ。主文だけでなく節の内部の主語と動詞にもマークして行こ

う。

自分で与えた訳語に惑わされるな。どうしてもつじつまが合わない時は思い切って調べ直す。文単位の訳はとりあえずあとまわしにして、全体の構成から結論を推理し、そこに至る論理展開の中に各部を位置づけて読み直そう。

DICTIONARY

初学者には必ずしも辞書ひきは美德ならず。同じ時間をかけるなら、調べるより覚えることを優先すべし。

新語は場面で記憶する。例文の中で覚えればその語の使われ方まで覚えられる。

一度引いた箇所には必ずマークする。いずれは下線と書き込みが一杯の手垢にまみれた辞書を目指そうではないか。

同じ語を何度も繰り返しひき直すのにくじけるな。人間の記憶には限界がある。それだけ使用頻度の高い語を忘れていたことがわかっただけでも感謝。忘れたらまた覚えるまで。

単語の意味調べでは文脈に一番合う意味を選ぶこと。段落全体の論の流れと、文中の前後関係から、意味を大まかに予想してから辞書を引こう。

ただし、一行に5つも6つも知らない語があれば、残念ながらそのテキストは自分のレベルに合わない。授業に関しては友人か先生にSOS。早速中学校の教科書を読み返そう。

LISTENING

日本語では絶対に使わない音の出し方を理解し、練習しよう。自分で発声できない音は聞き分けられないぞ。

会話ができるようになるにはまず聞いてわかること。あらゆる機会、あらゆる手段を利用して「耳」を鍛えよう。

初学者向けのあまりにゆっくりしたものは有害無益。なるべく初めから生の速度のものを聴こう。

一語一語では駄目：センスグループをまとめて聞き取る。自然な速度で話すとき「つながる音」や「消える音」がある。活字より自分の「耳」を信じ、聞こえるままに口真似しよう。

常に話題を意識し場面を思い浮かべよう。キーワードに敏感に。要点を聴き逃さない集

中力を養うこと。速聴は速読の予備訓練となる。

読むときと同様に、一般常識と予備知識を総動員して話の進行を予測する。

感情を聞き取ろう。イントネーションが耳に馴染むまで何度も聴こう。

WRITING

うまく書こうとか、格好良く、難しく書こうとしない。なるべく単純に、やさしくわかりやすく書こう。所詮は外国語。要点が正確に伝わることをまずは第一目標としよう。

頭の中に中学英語の基本文のストックを持つ。英作文は「英借文」とよく言われる。モデルとなる例文の数を増やすことが最良の方法。

いわゆる和文英訳では、思い付く単語、熟語、表現をメモ用紙に書き出し、それから語順と文の構成を考えよう。なかなか頭からスラスラと正確な英語は出て来るものではない。

自由英作文、課題英作文では、何を語るのが整理してから始めよう。キーワードを書き出して論理展開の構想を十分に練ること。

SPEAKING

そもそも日本人は皆自己表現が苦手。地味に無理せず話そう。日本語でさえ口下手なくせに、英語ではペラペラ話そうと思うのは無理と言うもの。

言い間違いも当然。発音もなまりがあるのは当たり前。ちっとも恥ずかしくない。バイリンガルは才能と環境の両方にたまたま恵まれた幸運な人たち。

我々には一生かかっても到達し得ない特殊な例。決して目標とするべからず。

中学の教科書を暗唱できるまで朗読すれば会話の基礎はもう充分。一部のイディオムを除き、「会話」のためだけの英語表現があるわけではない。

相づちを打ったり間を取ったりする表現を覚えて、会話の流れを自然に保つテクニックを身につけよう。

相手の言葉を反唱しながら、時間稼ぎ。その間に自分の考えをまとめよう。

話しことばには適当に無駄があってもよいもの。言い換えたり、時には言いよどみ、相手にも発言を求めながら、余裕を持ってゆった

りと話そう。

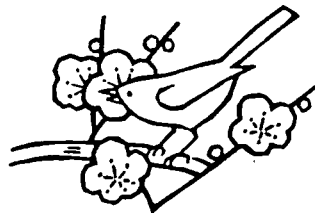
しばらく留学すれば会話力が簡単に身につくと思っている人がいる。読み書きが出来なくとも会話は度胸でOKだという。幸せな人だ。読んでわからない単語が耳で聞いてわかるものか？意味を知らない表現が自然に口について出て来るものか？

映画、ビデオ、英会話テープ・・・これだけ恵まれた学習環境の中にいながら、時間があるはずなのに聞き、話す練習を怠っている人は、残念ながら望み薄ですよ。

会話は臨機応変。リラックスした気持ちになればたら成功。そもそも英会話なんて、ちよっと軽薄なくらいに力を抜かなきゃやられない。いつもは「ミーハーの英会話なんて」と高みから見下していても、使う練習を怠いでいては、いつまでたっても使えるようにならないのもまた真理。

間違いを恐れるちっぽけなプライドをかたぐり捨て、恥を忍んでガイジンさんにアタック。2年生の皆さん、修学旅行はチャンスですよ。

おわり



日本における恋愛の観念の変遷

日本の歴史や文学作品に登場する男と女の関係は、今日の道徳観からすると理解できない例が数多い。人間の社会の男と女のつながりは男や女同士のつながりに比べて複雑である。男と女のつながりと言うよりは愛の観念あるいは恋愛の認識と言った方がよいかもしれない。



渡辺 敏夫

日本の歴史を遡るとその時代を反映した関係が見られる。

例えば、万葉集の「あかねさす紫野行き 藤野行き 野守は見ずや君が袖振る」、「紫草のひほへる妹を憎くあらば 人妻ゆえにわれ恋めやも」は、額田王と大海人皇子との恋の応答の歌である。額田王は大海人皇子の兄である天智天皇の妻であるが、かつては大海人の妻であった。古代においては、そもそも恋愛に関する道徳的判断やその基準はまだ確立されず、人間的現象として自然のまま受け入れられていた。わが国最初の小説である「竹取物語」では、五人の恋愛専門家（この時代の文明の頂上に位置する最高の美德を備えた紳士たち）がかぐや姫に求婚する。この平安朝の文明では、恋愛は極めて高い美的価値があり、知識人がこのような行動をとるのは自然で、知識人の必要条件であった。源氏物語の愛の遍歴もこのような認識に根ざしている。

この考えは西洋のキリスト教的倫理観に根ざすものでもなく、儒教の教えに従うものでもなく、日本の風土の中に自然発生的に生まれたものであった。

社会が発達し中央主権国家が強力になるにつれ、国の統治に反する行為であれば為政者より厳しい処罰の対象となり、社会の認識もこれに従う。しかし、明治以後はこの要素だけでなく、外来の西洋文化の影響をも受け、キリスト教的倫理観に基づいた男女関係が認

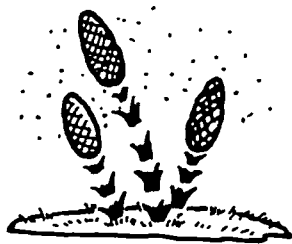
められることとなる。しかし、第二次世界大戦終了までは封建制度が存続したため、封建制度に都合のよい倫理観が続いていった。江戸時代はもとより、明治時代になっても恋愛の観念は日本にはなかった。社会が恋愛を承認しなかったのである。明治政府の高官たちの妻は、ほとんどが花柳界の出身者である。

女は子孫を残すための道具としか考えていなかった。明治も後半になると、小説の世界で尾崎紅葉の「金色夜叉」のように、恋愛を正面から取り上げる動きが現れる。島崎藤村、北村透谷、星野天知らは、恋愛を人生を賭けるに値するような観念として捉えようとした。しかし、具体化するにはあまりにも障害が大きく、無力であることを悟らねばならなかった。

このような経過をたどりながら、今日我々が認識する男女の関係に至っている。今後も時代の影響を受けながら変化して行くであろう。

参 考 資 料

中村真一郎著「色好みの構造」岩波新書
 中村真一郎著「日本の古典にみる性と愛」新潮選書
 村上信彦著「近代日本の恋愛観」理論社



卒業生が推す一冊

機械工学科

1番 赤羽 禎明
中根 千枝著 「タテ社会の人間関係」
社会に出てから役に立つ。

2番 朝倉 光雄
長岡 鉄男著
「長岡鉄男のいい加減にしますI~IV」
これを読むと性格が変わるかもしれない。
よい性格が悪くなり、悪い性格はさらに悪くなるかも。

3番 五十嵐 治
NHK出版編 「電子立国日本の自叙伝」
TVでも放映された若い技術者たちの挑戦。
失敗、成功を劇的に描いた半導体の技術史。
君もこれを読めば熱くなる。

4番 石井 健一郎
シム・シメール著
「OUR HOME」(画集)
個人的に好きなので、おすすめします。

5番 今泉 幸也
森 鷗外著 「舞姫」
面白いから。

6番 小沢 健
ブロック・イエイツ著
「F1の帝王と呼ばれた男 エンツォ・フェラーリ」
フェラーリ ファンには必須。

7番 片寄 秀典
田中 誠著 「ギャンブルレーサー」
あなたも競輪ファンになれる。

8番 加藤 聡
福島工業高等専門学校機械工学科編
「工作実習指導書」
なくすと大変です。

9番 草野 伸広
井上 靖著
「しろばんば(どんどん焼)」
おもしろいから読んで下さい。

10番 栗城 充
寺岡 修司著 「青少年の自殺学入門」
おもしろかった為。

11番 郡司 靖
ルース・ベネディクト著 「菊と刀」
外国人から見た、過去、現在の日本、日本人の特性などが手にとるように理解できる。
私がすすめるのはこの一冊である。

12番 小暮 徹
杉元 伶一著 「就職戦線異常なし」
織田裕二主演で映画化されました。原作読むとひと味違った楽しみが出来ます。

13番 小林 一博
伊藤 誠著 「私の闘病生活 ~悲しい夏」
著者が病に倒れてから、手術、そして完までの記録で、命とはいかに大切か、と言ったことを考えさせられた。

14番 斉藤 武志
柳田 邦夫著 「マッハの恐怖」
昭和40年代の航空機事故について書いたノンフィクション。事故調査委員会が少な情報から事故の真相を導き出すところは読ごたえがあります。

15番 坂本 千明
中根 千枝著 「タテ社会の人間関係」
現代の社会構造や仕組みが詳しく説明されており、日本の社会が外国と比較してどんな長所や短所があるかがよくわかる。就職する人に絶対オススメの一冊。

16番 佐久間 英年
佐藤 正著 「燃えるお兄さん」
ポキール星人がかっこいい。

17番 佐々木 慶
マインド出版著
「Speed Mind」
これを読んで、練習すれば4.9秒は速なる。ジャパンカップ・ジムカーナも夢でない?!

18番 佐藤 英樹
松本 侑子著 「別れの美学」
恋愛論を説く本は、数多く出版されていますが、この本は、別れを知ることは、恋愛のものを知ることになる、ということをお教えます。

19番 佐藤 豊

百瀬 明治著 『『軍師』の研究』
「日本の諸葛孔明」楠木正成や「孤高の軍師」竹中半兵衛など「信長の野望」をやったことのある人は必ず読むべし。

20番 嶋田 忍

木下 是雄著 「レポートの組み立て方」
日本と外国では小学校からの国語の授業で大きな違いがある。理科系・文化系のレポートの書き方が外国の国語の授業ではこれに必要なことを学んでいる。ほとんどの日本人の書くレポートは外国人には不愉快に受けとれるものが多い。

21番 鈴木 哲夫

朝日新聞社編 「天声人語」
読んで損はしません。

22番 鈴木 敏春

近代映画社編 「スクリーン」
よい映画をたくさん見ることは人生に役立つ。シリアスで泣いて、コメディで笑ってホラーは無視!!!

23番 鈴木 教之

集英社編 「週刊少年ジャンプ」
おもしろいから。

24番 鈴木 雅信

田中 芳樹著 「銀河英雄伝説」
「英雄」という文字が題名に入っているが某ゲームのように「生まれつきの勇者」などというバカげた存在がでてくるわけではない。架空歴史絵巻で、いろいろと考えさせられることも多い物語である。この学校の図書館にも存在する。

25番 瀧 宗大

栗本 薫著 「レダ」
全部読めば、おもしろさがわかるはず。

26番 田山 勝弘

銀色 夏生著 「これも同じ一日」他
銀色夏生の詩集は、どれでもおすすめ出来ます。その日の感情によって、読みわけて下さい。

27番 千葉 智博

大西 清 著 津村 利光 関序
「機械設計製図便覧」
卒業するために。

28番 円谷 真司

リチャード・バック原作 五木 寛之訳
「カモメのジョナサン」
よんで!!

29番 中平 俊章

著者 不明 「GOGGLE (グーグル)」
レトロ車ハーレーダビットソンなどに興味のある人におすすめ。

30番 中村 一義

多湖 輝著 「頭の体操」
ちょっとした息抜きにいい。

31番 中村 尚人

夏目 漱石著 「こころ」
いい本です。

32番 芳賀 信幸

かわぐちかいじ著 「沈黙の艦隊」
今タイムリーなこの一冊! 世界情勢がよくわかる。

33番 長谷川 輝彦

駒井 武夫著
「初級技術者のための材料力学」
わかりやすい例題が多くついで、材力が勉強しやすい。

34番 柳沼 政徳

サキ ヒトミ著
「ワンルーム ストーリー」
これは面白い。

35番 山野辺 隆男

「柔道部物語」
三五十五を含め柔道部員の勇ましい姿を、又、すばらしいギャグで、涙を流すほどの感動を私に与えてくれたため。私のギャグも、この本から、成長したと言っても過言ではない。

36番 横田 裕之

タウンマガジンいわき編
「月刊タウンマガジンいわき」
いわきに住んでいる人の必読書。

37番 吉田 浩之

教育社編 「ニュートン」
最新の科学情報がぎっしり!! 将来のためにもどうぞ!!

38番 若松 俊明
日本機械学会編
「日本機械学会 小型蒸気表」
熱機関の必需品!

39番 渡部 雅司
千葉 智博著 「サブ」
肉体美。

5番 遠藤 貴子
ダニエル・キース著
「アルジャーノンに花束を」
SFものなのに哲学を考えてしまうような
とても感動的な話。絶対に読みはじめたら、
やめられなくなって 涙するよ。

6番 遠藤 康弘
E. ブロンテ著 「嵐が丘」
主人公の激しい感情の揺れ動きを書いたイ
作。一度は読んでみる価値あり。

7番 大河内 カヲ
武田 鉄矢著 「お〜い竜馬」
とにかくかんどする。

8番 大平 高史
新井 素子著 「ひとめあなたに・・・」
地球滅亡を前に愛する人に会いに行く話
す。女の子、必読。「今」を大切に、生き
しょうね。

9番 岡 宗法
E. ヘミングウェイ著 「老人と海」
よかった。いがった。

10番 小川 雅央
広河 隆一著 「バレスチナ」
中東問題がけっこうわかるようになりま
(世界史用語辞典などがあると読みやすくな
ます)

11番 笠井 康一
西村 京太郎著 「消えたタンカー」
小野新町で読む。

12番 木村 直樹
椎名 誠の本
おもしろい文体なので何回読んでも飽き
ことはない。
アウトドア人間におススメ!

13番 草野 昌旭
山崎 豊子著 「大地の子」
いいぞ!!! いいぞ!!! これから読むけ
いいぞ!!!

14番 草野 学
西村 しのぶ著 「VOICE」
オムニバスです。
日下はいい男。
留華はいい女。 よいです。

電気工学科

1番 猪狩 義幸
「K2C『E』MAGAZINE」
ソニーマガジン社 ¥2000
芸術的な本です。いい本です。
安かったらもっといい本です。

2番 石井 容子
ローラ・インガルス・ワイルダー著
こだまともこ・渡辺南都子 訳
「大草原の小さな家」
この本の数ある翻訳の中でも私にとっては
この方達のが一番好きです。

3番 伊藤 和彦
夏目 漱石著 「こころ」
後藤 清一著 「人生は気合でっせ」
The Blue Hearts著
「トブネズミの歌」
これらを読めば貴方の考え方がかわる(?)
かもしれない。
読むことをすすめます。

4番 伊藤 誠
柴門 ふみ著 「東京ラブストーリー」
現代の若者たちの人間性をよく表している
と思う。又、5人の性格が五者五様でおもしろ
い。ぜひ読んで下さい。

15番 後藤 之夫
隆 慶一郎著 「一夢庵風流記」
「傾奇者」前田慶次郎の一代記。
これを読めば、男なら誰でも彼のような生き
方をしたくなるはずだ!!

16番 斎藤 宣彦
アーウィン・ショー著
「はじめはセントラル・パークから」
一人の人物とある家族との出会いが家族の
本当の姿を描き出す。

17番 佐藤 光則
J. ダレル著 「虫とけものと家族たち」
ほのぼの。

18番 塩井 達夫
川原 正敏著 「修羅の刻」
すごい

19番 柴崎 英紀
新井 素子著
「今はもういないあたしへ・・・」
御飯の前に読むのは、やめましょう。自分
の存在価値について考えさせられる一冊です。
同本の「ネプチューン」は、感動。

20番 杉田 崇
久保 啓治著 「新法学入門」
勉強になった。

21番 先崎 純寿
生江 有二著 「渾身・石橋 凌」
Take it easy
気楽にいこうぜ
SNAP YOUR FINGER
指を鳴らしながら!

22番 高岡 修平
長戸 勇人著 「クイズは創造力」
この本の面白さは、問題が分からなくても
たくさん知識が身につくことだと思う。

23番 高橋 沢也
山下 清著 「裸の大将放浪記」
放浪の旅をする清の毎日の日記だ。
4冊セット、ハードケース入りでなんと
18000円
これは、絶対お買い得
じゃねーよ!!!!!!
(テレビのとは全く違う内容なのだ!!!)

24番 武田 庸子
吉本 ばなな著 「つぐみ」
女の子は一度よんでみたらいいんじゃない
かな。
つぐみってかわいい女の子なの。
ほんと、女の子の理想だわ。

25番 田辺 慎二
黒井 千次著 「働くということ」
よかった。

26番 坪井 正光
J. ゴールズワージ著 「林檎の樹」
いい本です。

27番 新妻 寿文
スティーブン・W. ホーキング著
「ホーキングの最新宇宙論」
～ブラックホールからベビーユニバースへ～
最初はとっつきにくいかもしれませんが、
宇宙の誕生について興味のある方は読んでみ
て下さい。
人生観が変わるかもしれない。

28番 新妻 涉
司馬 遼太郎著 「峠」
真面目に読むと時の流れの中で「人生って
何?」と思うかも知れません。

29番 橋本 和弘
「月刊くるま選び」
N-carを買いたい貴方、必見。

30番 林 悟
田中 芳樹著 「銀河英雄伝説」
対立する二大勢力 銀河帝国と自由惑星同盟
との戦闘の中で生まれた二人の英雄の物語

31番 原田 和徳
ひかわ 玲子著
「三剣物語」 「闇の守り(上)」
気分転換などにファンタジー小説を読むの
もいいですよ。

32番 番場 隆行
「テニスマガジン」
テニスに興味のある人、好きな人はぜひ読
もう。
全国大会の結果も毎年出るよ。

工業化学科

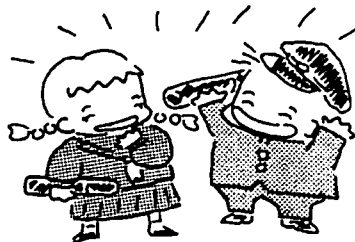
33番 日野 康宏
司馬 遼太郎著 「功名が辻(一)～(四)」
おもしろい。

34番 牧野 慶一
ジェイムズ・ヘリオット著
「Dr. ヘリオットのおかしな体験」
一度は読むことをすすめる。
いらいらしている時に読むと心が落ち着く
と思う。

35番 八島 貴裕
銀色 夏生著 「君のそばで会おう」
言い出せない「好き」、言い足りない「好
き」・・・そんな想いを胸に秘めている人、
読んでみて。

36番 横田 昭二
銀色 夏生著
「Go Go Heavenの勇氣」
わたしを路頭に迷わせないでね
あなたがいなければ
わたしは私を信じるしかなくなるわ。
・・・
なにがどう動いても
今は あなただけがとても好きです。

37番 渡邊 純子
夏目 漱石著 「こころ」
人生を軽く流してはいけません。
たまにはこういう本を読んで深く考えましょ
う。



1番 石井 康憲
開高 健著 「知的な痴的な教養講座」
文豪開高健のエッセイ集。とびっきりのコ
タを抜群の文章で仕上げた逸品です。

2番 伊藤 哲也
隆 慶一郎著 「一夢庵風流記」
「花の慶二」の原作

3番 鶴沼 友未
モンゴメリ著 村岡花子訳 「赤毛のアン
ミーガン・モロース主演の映画、”赤毛の
ン””続・赤毛のアン”も良かったけど原作
もすごくいいです。ちなみにこのほんには
編があり、全10冊です。

4番 海老原 淳子
柴田 錬三郎著「柴錬三国誌英雄(全六冊
)」
「壮大な構成の大河ドラマ」の著の三国誌;
何故か「どこか暗い影を持つ主人公の悲劇
な一生を描いたお涙頂戴もの」に変化して
まうとは・・・怖るべし、柴田錬三郎!!
(でも、本当に感動しましたよ)

5番 小澤 慶児
講談社 「YOUNGMAGAZINE
愛読書。

6番 小野 竜也
開高 健著 「食卓は笑う」
西洋の食事では、御鳴楽(おなら)をする
は許されるが、ゲップは御鳴楽よりも犯罪
であると言われている。御鳴楽をしてもい
から小話は忘れるな、という最大のエチケ
ットがあるからだ。そなエチケットをわきま
ていない日本人の為になり、笑えるのがこ
一冊。

3人の黒人の子供がパパ自慢にふけてい
1人の子がパパが爪をかんだら、とんだ爪
真っ黒なんだと、次の子は怪我した所を見
ら血まで黒かったよ。3人目の子はこない
何気なく御鳴楽をしたら、あたりがにわか
夜になったぜ。という小話などなど。

7番 菊地 知子
トマス・ハリス著 「羊たちの沈黙」
これはサスペンスです。本を読みたくない
は、ビデオも出ているので見て下さい。
でも本のほうがおもしろいと思う。

8番 榊田 孝之

服部 佳代著
基本マスター5時間-「一夜漬花子」
将来に不安を抱いているなら、これで学べ。

9番 小泉 隆宏

阿刀田 高著
「アラビアンナイトを楽しむために」
みなさんも読んだことのあるアラビアンナイトの話を、阿刀田流にアレンジしたら2倍楽しめる！！みなさんも一度読んでみてください。

10番 小林 留美

榊田 枝里子著 「不思議の国のエリコ」
「くすだえりこでーす」でお馴染みの彼女が書いた、科学の不思議を神話・文学・歴史的エピソードをまじえて語る、ファンタスティックなサイエンス・トーク。

11番 駒木根 薫

榊本 まき著 「KISS××××」
うまくいえないけれどもよい。
読めばしあわせになれます。たぶん。

12番 坂本 聡

教科書

13番 佐藤 真一

榛野 なな恵著
「Papa told me」
将来、素敵なパパと呼ばれたい男性諸君必読の書。

14番 佐藤 誠

石原 慎太郎著 「Noといえる日本」
この本が書かれたのは何年前のことであるが、現在の日米関係を考え直すのに必要な本ではないかと思う。

15番 佐藤 真智子

吉本 ばなな著
「ムーンライト・シャドウ」
ちょっと悲しい話だったけど、ヒーんとくるものがあってよかったです。

16番 澤田 徳茂

E・R・バローズ著
「地底世界ベルシダー」シリーズ
中学生の時、初めて読んで以来のめりこんだ本。たまにはこんな本も一読どうでしょうか。ほかにはターザン、火星シリーズなども。

17番 志賀 章

アラン・シリトー著 「長距離走者の孤独」
作者は、私の最も尊敬する人物のひとりであると共になりのひねくれ者でもあります。もちろん、主人公は超ひねくれ者。これを読んで理解できたらあなたも相当のひねくれ者です。

18番 宍戸 克史

BURRNCORP.
「BURRN！」
HM/HRファン必見！？

19番 助川 賢二

三浦 綾子著 「氷点・続氷点」
氷点は「人間の原罪」、続氷点は「罪に対するゆるし」を主題とし、辻口家におこる様々な出来事を通して、主題に対する多くの考え方を考えさせてくれる本。

20番 鈴木 光正

白夜書房 「パチスロで勝つ」
パチンコ・パチスロ攻略シリーズ

21番 清野 太一

胡桃沢 耕史著 「翔んでる警視正」
世界各国語ペラペラの岩崎白昼夢(さだむ)が、その秀れた頭脳とコンピュータを駆使して数々の難事件を鮮やかに解決する。

22番 高柳 浩子

S. シェルゲン著 「明日があるなら」
日頃あまり読書をしない人でも、時が経つのも忘れて読みふけることができる本だと思います。

23番 藤社 友則

田中 芳樹著 「銀河英雄伝説」
ヤン・ウェンリーが渋いかも？

24番 戸田 貴純

ジョージ 秋山著 「浮浪雲」
粹な人生を送りたい。

25番 西山 貴志

企画室ネコ出版 「Tip o」
今流行(はやり)のハイパワー車に乗っている奴の内いったい何人がそのパワーをフルに活用できるのか？無個性で味気ないスタイリング、電動モーターのようなエンジンとその広範なトルクのおかげでレッドゾーンまで引っ張りあげる楽しさが消えてしまったニュー

カー達。そんな車に飽きたならばこれを読みなさい。ロータス、MG、アルファロメオなど数々の名車達がトルクとかパワーの数値だけでは計り得ない楽しさを教えてくれるだろう。そしてそこにはノスタルジックな 60's のロマンが漂うのだ。(´ー´)

26番 橋本 薫

中沢 新一責任編集・解題

南方熊楠コレクション「浄のセクソロジー」
旧かな使いで読み進むのに時間がかかるが超エッチで面白いと思う。今、読んでる途中。教室では読まない方がいいと思う。

27番 福田 忠晴

わたせ せいぞう著 「ハートカクテル」
自分の好きな世界の一つでもあり、読むというより、見ていてきれいな本の一つです。部屋の片隅に置いておいてもオシャレです。

28番 舟田 康裕

ヘミングウェイ著 「老人と海」
おもしろい。

29番 真船 雅美

青春出版社 「SAY」
女性の体の悩み解決。"基礎体温はつけたほうがいい"と考えさせられる一冊。

30番 宗像 靖

ハロルド 作石著 「ゴリラーマン」
白武高の生徒はまだゴリラーマンの恐ろしさを知らない……

31番 渡部 健吾

「ザ・ロック・レクイエム」
生き急いだロックンロールの巨人達の生涯を描いたこの本は50、60、70年代という熱い時代を伝える優れたドキュメントである。ロックファンは必読!!

32番 渡辺 幸隆

ビート たけし著 「だから私は嫌われる」
天才たけしが政治経済、社会風俗から芸能界まで、すべてをブツ斬った超ド級爆弾! 続編「やっぱり私は嫌われる」もあります。

士木工学科

1番 浅野 正生

西村 京太郎著 「十津川警部の挑戦」
この本に限らず西村京太郎の小説は面白い。

2番 飯田 貴教

ジェイ・マキニー著 「ブライト・ライフ・シティ」
N. Yを舞台に出版社で働く男のLifeを描いた作品。自らの体験を二人称現存形というスタイルを使って「きみ」という語りかけで書いている。普通の青春・恋愛小説

3番 猪狩 英行

田家 秀樹著
(A PLACE IN THE SUN) ON THE ROAD AGAIN
陽のあたる場所
"頼りなく豊かなこの国に何を賭け、何を夢見よう" 浜省ファンへ、必ず読んでおくように!

4番 伊東 久仁子

西村 京太郎著 「十津川警部の挑戦上巻」
とても、おもしろいので、ぜひ下巻も読んでみて下さい。

5番 上野台 英孝

武者小路 実篤著 「愛と死」
同じクラスの山名君に勧められた実篤作品のうちの一つで、読む機会に出会ってよかったと思う作品のひとつ。
だから、誰かに勧めたい作品のひとつ。

6番 遠藤 勝也

しげの 秀一著 「バリバリ伝説」
主人公の巨摩郡が高校生からバイクのレースGPで活躍するまでを描いた、サクセスストーリーの映画。暇潰しにどうぞ。

7番 遠藤 靖

西村 京太郎著 「十津川警部の挑戦下巻」
下巻だけでは、話が分からないので、上巻も読んでみては、いかがでしょうか。

8番 大平 成泰

西村 京太郎著 「都電荒川線殺人事件」
十津川警部の名推理が冴える。

9番 小野 広治

岡部 幸雄著 「ぼくの競馬ぼくの勝」
決して天才でない男が日本一のジョッキーになるまでのサクセスストーリー

自然体の文章で書かれており、共感を呼ぶ本だと思ふ。

10番 小野 良治

講談社 「プレイボーイ」
時々刻々と変化するさなか、その状況を明確に把握し今後の生活にいかしていく。

11番 川田 睦

水島 新司著 「極道くん」
大器晩成型の京極道太郎は、野球の才能をやくざの親分に見いだされ、清正高校に入学した。その中で繰り広げられる。友情と根性の物語。
道太郎と政宗との甲子園をかけた戦いが見もの。

12番 菅野 さより

A. J. クローン著 「城砦」
世界文学の名作として有名な本ですが決して難しくはなく、どんどん読み進めていくと意外な結末が待っています。社会に出る前にぜひ読んで欲しい一冊です。

13番 木村 静栄

石川 真澄著 「短い文章のコツ」
具体的な例文が多くあり、どこをとっても大事な所ばかりです。
小論文、レポート……etc. インパクトの強い文章を書きたい方、どうぞ。
すぐ読めますよ。

14番 木村 正人

建設図書 「橋梁と基礎」
橋梁の計画、設計、施工の最新技術が載っているので将来橋梁技術者をめざす人にはぜひおすすめしたい。毎月1回発表

15番 倉嶋 みゆき

田中 誠著 「ギャンブルレーサー」
愚か者の福音書。これを読んで出世した人は皆無。ちなみに作者は岡山28期B級2班の人とはアカの他人です。
関優勝と同じ職業になれば年収1000万以上は稼げます。

16番 小松 正啓

二玄社 「CARGRAPHIC」
エンサーによるエンサーのための自動車雑誌。毎月出てます。1010円です。それでも読みたい人、是非どうぞ。

17番 斉藤 義洋
「BIGTOMORROW」

これから先のことを考えるならこの1冊!

18番 佐川 義弘

平井 和正著 「狼の紋章」
とても面白いです。是非読んで下さい。

19番 佐久間 正和

新明淳著(自費出版)
「右翼の何が悪いー日本を愛して何が悪いー」
激動する世界の中の日本を考えている「NOといえる日本」に次ぐ影の話題作である。

20番 佐久間 康一

スティーブン・キング著 「IT」
上下で6400円、金とひまのある人は読んでもいいんじゃない?

21番 新明 淳

和田 豊著 「教育勅語修身要義」
三島 由紀夫著 「英霊の声」
三島 由紀夫著 「業隠入門」
教育の目的はキャパシティの強化にあると言われる。しかし、これはあくまでも訳語である日本の教育学は教育勅語に始まる。
われわれの世代で「英霊」という語を知らない人達に送る2・26青年将校の怨念の声を聞け。
「武士道とは、死ぬ事と見付けたり」という有名な一句以外に「業隠」をよく読んだことのない人は、いまだに忌まわしいイメージを持っている。しかし、その一句自体が、この本全体を象徴する逆説なのである。わたしは、そこにこの本から生きる力を与えられる最大の理由を見いだした。

22番 鈴木 雅之

I・D
イギリスのファッション雑誌
ロンドンストリートファッション・アート・MUSIC・DANCEなど、私達の視覚そして感覚を刺激してくれる。

23番 鈴木 幹洋

岩城 滉一著 「結婚したくなる女」
かっこいい男を目指す方におすすめ。

24番 丹野 秀樹

集英社 「ザ・テレビジョン」
この本なしでは日本の情報は語れない。

25番 永山 慎之介
白田 甚五郎監修 日東書院
「ことわざ辞典」
長い人生の中で、きっと役に立つ故事名言があります。役に立てて下さい。

26番 西山 寛俊
吉川 英治著 「三国志」
古代の中国ロマンがじっくり味わえる一冊。

27番 根本 正亥
永岡書店 「クルマ用語とメンテナンス」
知って得する知識が満載。

28番 橋本 郁男
宮崎 淳&アポカリプス21研究会著
「大予言・地球滅亡の書」
1991年「7」の月に向けての科学的な見方が面白い。

29番 早坂 幸子
桜沢 エリカ著 「シッポがともだち」
これは著者が飼っているネコの話で、読んでみると、おもわずネコが欲しくなって困ります。

30番 星 孝樹
Cal
フォルクス・ワーゲンやアメ車など詳しく載っていてマニアにとっては必需品
パーツなども載っているので欲しいものがあれば買うこともできる。

31番 松本 稔
「ギャンブルレーサー」1～5巻
主人公（関）の人間性が面白い。

32番 山名 成彦
武者小路 実篤著 「若き日の思い出」
とにかく一度読んでみて下さい！

33番 吉田 慎
白夜書房 「パチスロ必勝ガイド」
この内容で、この安さ。

34番 渡辺 和弘
シドニー・シェルダン著 「ゲームの達人」
読み初めてすぐにのめり込む本です。

35番 渡部 大輔
「ギャンブルレーサー」
自転車競争を通じて人生の厳しさを語る。

編 集 後 記

★ 前号の数学に引続き、今回は英語の勉強法について宮澤先生に執筆して頂きました。“国際化”時代が叫ばれる中、英語学習はますます重要になってきてますが、「英語は苦手」という学生も多く見られます。大いに参考にして英語に親しんでいきたいものです。

★ 5年生もいよいよ卒業。社会に出てからも暇を作って本との出会いを大切に、思考力や感性を磨くことに努めて行って欲しい。

後輩諸君も先輩の顔を思い浮かべつつ、「卒業生の推す一冊」を読んでみて、読書のヒントが得られれば幸いです。

(ビブリア編集委員 佐藤恭輔)